

OPドライスケヤーベイマツは、「保存処理材-2」でAQ2種(JAS K3相当)を取得しています。

OP DRY SQUARE

4号特例縮小に対して、めり込み強度に優れた保存処理土台はいかがでしょうか

めり込み強度

9.0 (N/mm²)

※H13国交省告示1024号
の安心感



・太陽光パネルの設置、トリプルガラスの採用などによって、ますます土台に荷重がかかり、『めり込み強度』が求められてくると考えられます。ベイマツはめり込み強度が最も高い樹種の1つです。

深浸潤処理の動画はこちら



・無色透明でにおい・ベタツキが少ない、油溶性の薬剤を用いて深浸潤処理を行うことで、AQ2種(JAS K3相当)の保存処理性能を付与することができます。

・保存処理による寸法変化がなく、高い寸法精度を実現できます。

SDGsへの貢献

